

梯きざはし

きざはし【階】〈梯〉はしご段。地域の皆様と健康生活へのかけはし。



地方独立行政法人

那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
TEL 098-884-5111 (代表)
TEL 098-887-1199 (急病センター)

<http://www.nch.naha.okinawa.jp/>



那覇市立病院

●●●● 理念「和と奉仕」 ●●●●

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するように努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するように努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院をめざします。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

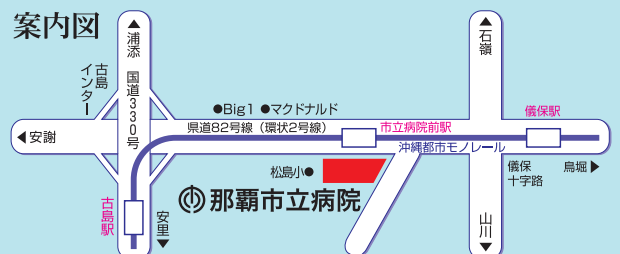
●●●● 「患者の権利」 ●●●●

- 一、誰でも、人権が尊重され平等に良質な医療を受ける権利をもっている。
- 一、誰でも、自分で病院や診療方法を選ぶ権利をもっている。
- 一、誰でも、十分な説明のもとに診療を受ける権利をもっている。
- 一、誰でも、自分の治療上のプライバシーが尊重される権利をもっている。
- 一、誰でも、自分の診療記録の開示を求める権利をもっている。

CONTENTS

脳卒中とは？ 副院長(脳神経外科) 島袋 洋	2
とうとう新型インフルエンザがやってきた！	4
内視鏡センター紹介	6
薬剤室紹介	7
出産体験記	8
がん患者と家族のサロン「患者サロン」が始まりました！	9
地域医療連携室へようこそ	10
専門医紹介／献立紹介	11
登録医紹介	12

案内図





脳卒中とは？ (Part 2)

地方独立行政法人 那覇市立病院
副院長(脳神経外科) 島袋 洋

脳出血とは？

脳内出血は、一般に高血圧症が原因となって発症します。高血圧が持続すると、脳内の穿通動脈と言われる細い動脈に血管壊死が生じ、次いで微小動脈瘤が形成され、血圧の急激な上昇による機械的ストレスによって、この微小動脈瘤が破裂して脳内出血を起こすと言われています。

脳内出血による死亡は2005年には1960年(脳出血死亡率人口10万人対123.3、脳血管疾患総死亡数に脳出血死亡数が占める割合は76.8%)頃の約5分の1まで減りました。これは栄養状態の改善、高血圧患者の受診率の上昇、そして安全で有効な降圧剤の出現で脳内出血そのものは軽症化の傾向にあります。脳内出血患者の入院実数はむしろ増加し、高齢化による患者数の増加が懸念されています。

脳内出血の症状は、出血の部位とその大きさで決定されますが、急性の経過で、しばしば激しい頭痛と嘔吐、片麻痺、意識障害、けいれんなどが出現します。発症は日中の活動時に起こることが特徴的です。

脳内出血の診断にはX線CTあるいはMRIが有用で、脳内出血の治療は、軽症例では内科的治療が行われ、中等症～重症例では外科的血腫除去術が考慮されます。意識障害のある場合には、救命を目的として、意識レベルや呼吸、血圧、循環の変動を時々刻々把握する必要があります。血圧(収縮期圧)が180mmHg以上と高い場合には降圧薬を使用し、出血の増大を防がなければなりません。従って、脳内出血の場合も脳梗塞と同様に、発症後直ちに専門医のいる医療施設へ搬送し、正確な診断・適切な治療の開始が重要です。

脳内出血の外科治療は、救命を目指す①開頭血腫除去術と、圧排による脳障害の程度を軽減する②穿頭血腫吸引術に分かれます。①は、大きな出血が対象となりますが、昏睡例では良好な予後は期待できません。②は、頭蓋骨の小孔から血腫内に吸引チューブを定位的に挿入し、血腫を溶解させて除去する方法で、

術前の意識障害が比較的軽症で、全身状態も安定していることが条件です。

高血圧症を原因とする脳内出血は、降圧治療の普及により確実に軽症化していますが、発症頻度の減少は確認されておらず、脳卒中に対する予防医学の普及・啓蒙が重要と考えます。



クモ膜下出血とは？

クモ膜下出血とは、脳表と脳を覆うクモ膜との間(クモ膜下腔)に存在する動脈が破れ、クモ膜の下に出血が拡がった状態のことを言います。出血の原因は脳底部の動脈にできた瘤(嚢状動脈瘤)からのものが殆どです。脳動脈瘤は、脳動脈の枝分かれする部分が膨れてできることが多く、その分枝部では、平滑筋からなる中膜が欠損し薄くなって、そこに血流がぶつかり、しだいに膨らんで動脈瘤が形成されると考えられています。

脳動脈瘤が破れると、今まで経験したことのない猛烈な頭痛におそわれ、吐き気・嘔吐があって、そのまま気を失います。出血量が少ないときは間もなく意識が戻りますが、出血量が多い場合や脳の中に破れ込むと、意識が戻らず、麻痺や言語障害も出現し非常に危険な状態になります。いったん出血が止まっても、数時間から数ヶ月のうちにまた出血することが多く、これが命取りになることもあります。出血からある程度の時間が経過すると、



首（うなじ、項部）が硬直し、首が前に曲がらなくなります。

クモ膜下出血の診断は、発症のしかたと症状の経過だけでも可能ですが、CTで脳の表面のシワ（脳溝）や底面（脳槽）が血液により白く見えます。CTではっきりしない場合には、腰椎穿刺を行って、脳脊髄液を採取し出血を確認します。

クモ膜下出血が確実にになったら、脳血管造影を行ない、動脈瘤の部位、大きさを確認し治療計画を立てます。

脳動脈瘤の治療は①開頭クリッピング術と②脳血管内手術があります。①では、上手くクリップをかけられれば完全に治すことができます。②は大腿動脈から極細のカテーテルを脳動脈瘤の根元まで挿入し、この先から極細のプラチナコイルを動脈瘤内に充填する方法で、コイル塞栓術と呼ばれています。全ての動脈瘤の患者さんにコイルの挿入が可能な訳ではありません。発症からなるべく早く手術を行うことが重要ですが、クモ膜下出血後には手術をしても、しなくても4～5日頃から生体防御反応として起こる脳血管攣縮という現象が待ち受けていることにも注意をしなければなりません。

脳卒中の予防

脳卒中の予防の基本は生活習慣病を予防することです。高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙は動脈硬化を促進し、脳卒中や心臓病の危険因子としていつも強調されていますが、なかなか改善できません。日頃の生活を管理することがなによりも大切なことは言うまでもありません。具体的には、規則的な生活をし、ストレスと疲労を持ち越さない。適度な運動をする。水分を十分とる。規則正しい排便に心がける。熱い風呂を避ける。食べ過ぎない。酒を飲みすぎない。タバコを吸わない。これらの事をどれくらい実践出来るでしょうか。食事についてはさらに注意しなければならないポイントがいくつかあります。すなわち、

減塩食を心がける、コレステロールの多い食事を控える、バランスのよい食事をとる、ということです。毎日の食事と生活習慣病の間には、密接な関係があります。生活習慣病の予防が脳卒中の予防、即ち動脈硬化の予防につながっていることを忘れてはいけません。

最近では脳血管の病気を発症前に見つけて予防または治療するという考え方、すなわち『脳ドック』が普及して来ています。特に、クモ膜下出血は、50才前後の働き盛りの人々に好発する重篤な病気で、MR装置を用いた脳の断層画像（MRI）や脳血管撮影（MRA）により、無症候性の脳梗塞や脳血管の閉塞ばかりでなく、未破裂の脳動脈瘤なども診断できます。無症候性の脳梗塞が見つかった場合は、脳卒中の危険因子を調べ、コントロールに努めます。頸動脈の高度狭窄が見つかった場合は、無症候でも内膜剥離術やステント留置術が適応になります。また、未破裂の脳動脈瘤が見つかった場合には、くも膜下出血を未然に防ぐ目的で開頭クリッピング術や脳動脈瘤内（コイル）塞栓術が行われます。このように、脳ドックによって重症な脳卒中を少しでも減らそうとする努力が行われるようになって来ています。破裂後の医療費や様々な損失を考え、脳ドックを導入する企業も増えてきていますが、未破裂脳動脈瘤の予防的手術の是非については、現在でも様々な議論のあるところです。

日本人の国民病と言われている脳卒中を克服することは、今世紀の医療のなかでも中心的課題の一つです。脳卒中がもたらす社会的損失は計り知れないことは世界のどの国でも認識され、様々な取り組みが開始されています。今後わが国では、脳卒中集中治療室の整備、搬送システムの確立、治療法の標準化が推進されるものと考えられます。那覇市立病院も微力ながら、市民・県民の皆様の健康推進のためによりよい医療を提供すべく、日々努力していますので、今後とも宜しくお願いします。



とうとう新型インフルエンザがやってきた!

内科 科部長(呼吸器専門医) 知花 なおみ

「いつかは来る!」と言われていた新型インフルエンザが、とうとう世界各地で拡がりを見せています。メキシコで最初の感染者が確認されてから約2か月経ちましたが、この原稿を書いている6月下旬の時点でも、沖縄県ではまだ新型インフルエンザ患者の発生は報告されていません。

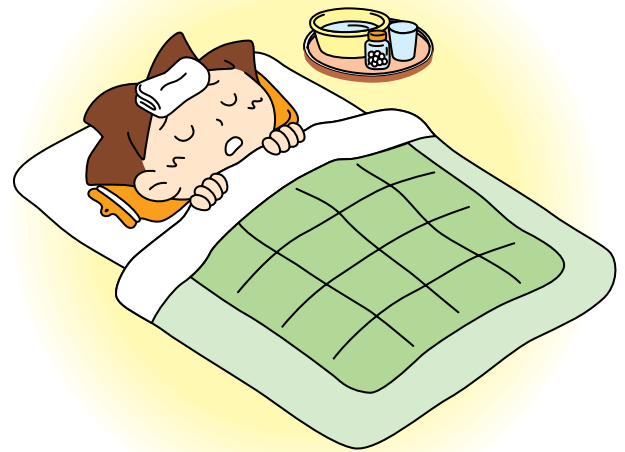
さて、世間を賑わせているこの「新型インフルエンザ」とは、いったいどんな病気なのでしょう?

新型インフルエンザを理解するには、通常の季節性インフルエンザについて知らなければなりませんし、必要な関連用語の理解も必要となります。通常の季節性インフルエンザについては、2008年10月に発行された「梯」2号で取り上げられているので、ここではそれ以外のことを中心に説明を進めたいと思います。

新型インフルエンザの特徴は、これまで人類がかかったことがないインフルエンザウイルスが出現し、それがヒトとヒトとの間で感染することにあります。インフルエンザウイルスの中でもA型は、突然変異を起こして、型がどんどん変わっていくウイルスです。そのため、1月から3月はインフルエンザの**局地的流行 (epidemic)** が毎年起こり(沖縄では夏にも起こります!）、病原性の強いウイルスが流行した年には、死亡率が上昇しました。しかし、これらはAソ連型または香港型と言われる、私たちが今までかかったことのあるウイルスによるものなので、ある程度免疫を持っている人が多く、かかったとしてもそれほど重症にならず、予防のためのワクチンも作ることができました。ところが今回発生した新型インフルエンザ(ブタ由来インフルエンザA/H1N1)は、これまで人類が一度もかかったことがないウイルスなので、世界中の誰一人としてこのウイルスへの免疫がなく、ましてやワクチンを作ることもできないため、多くの感染者を生み、結果として死亡につなが

るケースが出てきたのです。

このような人類がこれまでかかったことのないタイプのウイルスが発生すると、飛行機など交通手段の発達した現代では、それが世界各地に広がって流行を起こします。この世界的大流行を**パンデミック (Pandemic)** といひ、WHOはその段階を表すのに**フェーズ**というスケールを使って、1から6の数値を用いて表しました。現在は**フェーズ6**で、世界的な大流行のレベルに達していると言われてい



では、このような状況下で私たちが新型インフルエンザにかからないためには、どのようなことに気をつければいいのでしょうか?

感染を防ぐためには、インフルエンザウイルスの特徴を知らなければなりません。敵と戦うには、敵をよく知らなければうまくいかないのと同じです。このインフルエンザウイルスの特徴は、感染性が強いことにあります。ウイルスはとても小さく、顕微鏡で見ても見えません。このウイルスは、生きた細胞の中でしか生きることができず、感染した人の喉などでウイルスが増殖します。そこからくしゃみなどでそのウイルスを含んだ水滴が飛んだ場合に、それを他の人が吸い込むことで感染する、いわゆる「飛沫感染」という方法で

うつります。つまり「感染した人の飛沫」がウイルスを他の人に広げるのです。そのため、ウイルスを撒き散らさない、そして、他の人のからのウイルスを吸い込まないことが予防となります。こうした心がけは「咳エチケット」と呼ばれます。

咳エチケットとは、一言で言うと「クラシックのコンサート会場で咳をするときの仕方」です。ハンカチやタオル、ティッシュなどで口を覆い、下を向いて、できる限り静かに咳をする、これが周囲への迷惑を最小限にする咳エチケットです。

「愛と咳(とくっばえびせん)は止めようと思っても止められない」という格言にある通り、咳を自覚的に止めることは至難の技です。ですから咳が出るときは、クラシックのコンサート会場にいる時のように、周囲の人に迷惑をかけないように心がけることが必要です。咳が出そうな人はなるべくマスクを着用して、ウイルスを含んだ飛沫を他の人に撒き散らさないようにしましょう。もちろん、咳のない人は必ずしもマスクは要りません。必要な人が必要な対策をしっかりと行うことが大切です。

インフルエンザの多くは飛沫感染でうつりますが、他にもウイルスを含んだ水滴の付着したドアノブなどから手を介してうつることがあります。これを「接触感染」といいます。たとえば、新型インフルエンザウイルスに感染した人が咳をして、口を押さえた手の平にたくさんのウイルスをつけた状態でドアを開けた場合、次にそのドアを触った人の手にウイルスがうつり、その手で顔や口を触った場合はウイルスがのどに入り込んで感染するリスクが高まるのです。このため、咳のある人もない人も、しっかり手を洗わなければなりません。また、インフルエンザが流行している時期は、なるべく手で口の周りを触らないようにするのが賢明です。

私たち医療関係者は発生率が高いと見られ

ていた新型インフルエンザ対策を以前から行っていました。しかし、これまで誰も経験したことのない感染症の事前対策を実施することは困難を伴い、また、これまで発生率が高いとされた鳥インフルエンザを想定した対策を検討することが多かったため、豚インフルエンザに対応した対策を行うために変更を余儀なくされることが多くありました。そしてこれからも流行の状況を把握し、保健所と連携しながら実践的でフレキシブルな感染対策を継続していく予定です。

現時点でも国内での新型インフルエンザ患者数は増加し続けています。前例がなく情報が不足していたため、国内発生早期には感染者はすべて入院または隔離という封じ込め対策が採られ、メディアは感染者が利用していた施設及び学校を大きく取り上げました。このため、一部の地域では「行政や医療機関が感染者を探さない」といった批判や、患者側でも「感染しても自宅療養で済ませて、医療機関での診断を受けない」といった自己防衛策を採るようになりました。これは感染対策上とても憂慮すべき事態です。感染症の治療のためには、また、さらなる感染拡大を防ぐためには、かかりつけの医師を訪れ、早めに診察及び治療を受けることが必要なのです。

どの病気もそうですが、新型インフルエンザの場合はとくに「まずは感染しない」ということがもっとも重要です。さあ、さっそく今日から手洗いの励行と咳エチケットを始めましょう。市立病院では予防に向けた「手洗い講座」を開催する予定です。実践的なインフルエンザ予防対策を行うためにも、時間がありましたら皆さんふるってご参加ください。

内視鏡センター紹介

◆内視鏡とは？

内視鏡とは、先端に小型カメラをとりつけた電子スコープを用い、胃の中や大腸等身体の中に挿入することにより直接観察や処置、治療を行うことの出来る医療器械のことをいいます。

◆どのような種類の内視鏡がある？

内視鏡には症状、目的別で様々な種類があります。

上部消化管内視鏡（普通、極細径、経鼻処置用特殊型）、十二指腸内視鏡、気管支鏡、下部消化器内視鏡



◆24時間体制で万全を期します

平成13年1月内視鏡センターを開設、平成18年1月第二内視鏡センターを増設し大腸内視鏡検査の待ち期間も解消されました。

内視鏡、放射線科スタッフが24時間体制で皆さんが安心して検査、処置、治療ができるように万全を期しています。



平成20年内視鏡検査

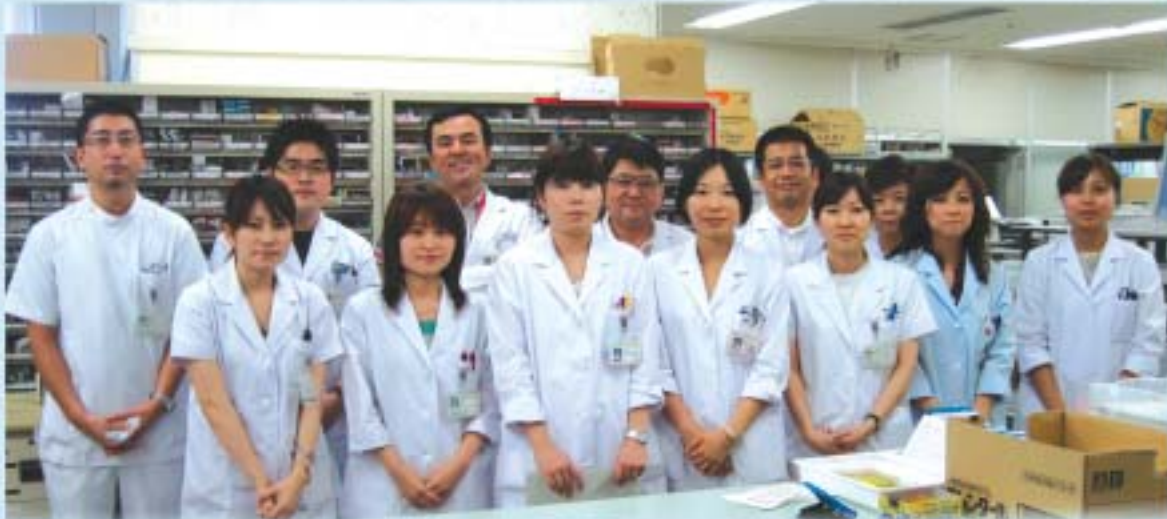
上部内視鏡4797件、胃瘻造設術68件、
上部内視鏡止血術116件、
内視鏡的粘膜下切開剥離術24件、
下部内視鏡1167件、ポリープ切除術196件、
十二指腸内視鏡24件、気管支鏡59件

※医師10名（2名／日体制）、看護師長1名、看護師15名、看護補助員2名、受付2名で、検査、治療にあたっています。

患者1名に対し、看護師2～3名で対応することにより安全で的確な対応ができるよう心がけて看護を行っています。又、患者さんへ直接使用する内視鏡スコープはガイドラインに沿って消毒を徹底しています。



薬剤室紹介



・スタッフ：薬剤師（常勤）20人… 平均年齢35歳（??）、非常勤事務5人

薬剤室はスタッフ全員で24時間、患者さんのために「正確な調剤」、「わかり易い服薬指導・情報提供」、「適切な薬品管理」に努めています。

薬剤師長の独り言：「皆元気（健康）で少し無理をしよう？」



業務内容

- ・**外来（一部）・入院患者さんの調剤業務**：先生が処方した薬の内容をチェックし内服薬、外用薬、消毒液などの調剤および調製を行います。
- ・**入院患者さんへの服薬指導業務**：薬の専門家として入院している患者さんへ、薬や注射薬についての説明、副作用のチェック等を病室に伺って行っています。その際に先生には言えない・聞けない？薬についての（サプリメントや食べ合わせなど）質問についてもお答えしています。
- ・**入院患者さんの注射薬個人セット業務**：患者さん毎に注射薬の内容を確認し、使用する注射薬のセットを行う事により間違いのない注射薬の施行をサポートしています。
- ・**抗ガン剤注射薬の混注業務**：前日に入院・外来点滴センターでの処方内容をチェック。当日医師の確認後、PDA（三点チェック：注射薬・処方箋・患者さん）を利用して内容を再度、確認します。その後、安全キャビネットを利用して混注業務を行います。また、点滴センターにて治療の説明・内服薬の確認・副作用のモニタリングを行います。朝のミーティング・夕方の申し送りで点滴センターの看護師と常に情報を共有します。入院患者さんについては、病棟担当薬剤師が対応します。いろいろと五月蠅いこともコメントすることと思いますが、宜しくお願いします。
- ・**チーム医療（糖尿病教室、喘息教室、マタニティ教室、栄養サポートチーム、緩和チームなど）**：糖尿病教室・喘息教室・栄養サポートチーム、緩和チームまた、今年からマタニティ教室への参加も加わりました。各担当者が、自分にできることを少しでも患者さんのためにお役に立てたらと日々精進を重ねております。
- ・**DI業務（医薬品情報管理業務）**：個々の医薬品の情報は、薬事法第52条に定める「医療用医薬品添付文書」（通称：能書）等から入手し、必要度に応じて院内に報告しています。また、医療関係者からの薬剤に関する質問（錠剤鑑別、配合変化、副作用・相互作用、薬物中毒 等）に対しては随時回答しています。

出産体験記



大底 さおり

「自然分娩で夫立ち会いの出産」

これが私たちの希望であり、40週間の妊娠期間中に目標としてきたことでした。

思いがけず「羊水過小症」という状態になってしまい、結果的に帝王切開での出産となりました。しかし、お産の形はどうぞであれ、私たちがお腹の中で大切に育ててきた命は元気に誕生してくれてくれた。そのことがすべてで、いろいろな人に感謝の気持ちでいっぱいです。

不安で過ごしたお産前から退院の今日までスタッフの皆さんの心温まる声かけや指導のおかげで、これから始まる「子育て」という未知の体験に向き合っていけそうです。

ありがとうございました。

将来、息子に「あなたはここで生まれたのよ」と話して聞かせる日を待ち遠しく思っています。



「ふてくされている」状態でした^_^；

手術室前のベンチでは時間が止まっているようで、1, 2分おきに腕時計とにらめっこする始末、出てくるベッドを見て立ち上がってはまた座るといふ繰り返しでした。

その間も「自然分娩にこだわった方が良かったのではないかな?」とか「立ち会い出産でビデオ撮影もしてがんばった妻に『お疲れさん』なんて声をかけるつもりだったのに…」等という考えが頭の中をグルグルしたりしていました。

先に我が子が手術室から出てきて、その顔を見た瞬間、さっきまでの複雑な気持ちはすべて吹き飛び、自分が笑顔になっているのがわかりました。

そして、妻よりも先に抱かせてもらい、おそらく周囲の人が見たことのないようなデレデレ顔になっていたと思います。きっと私は息子に「母ちゃんより先に父ちゃんが抱っこしたんだぞ。」とつてずつと自慢するでしょうね・・・^_^；



産後の妻と、小さな息子と、3人で始まる新生活は想像もつかないことばかりですが、一つ一つを楽しみながら、協力してがんばっていきたいと思います。

最後に、妻の安全なお産のために尽力してくださった独立行政法人那覇市立病院の皆様へ心より感謝を込めて、この文を閉じます。

出産体験記（夫目線）大底 和智

結婚8年目にしてようやく妻のお腹に命を授かり、平成21年5月29日、15時15分に男の子が誕生しました。

順調に大きくなっていく妻のお腹をなでながら、「男かな?女かな?」「どっちに似ているかな」など楽しい毎日で、一緒に呼吸法を練習してみたり、出産時の買い物をしたり、育児書を読みながらなんだかんだと語り合ってみたりと、あっという間に9ヶ月。

私の転勤で、出産直前に引っ越しという負担を妻にかけることになりましたが、これも何かの縁で那覇市立病院にお世話になることになりました。

6月3日の予定日を前に最後の検診になるはずだった5月25日、夕方に突然妻からの電話でした

「入院になっちゃった…」青天の霹靂の一言。先生から「なんだか気になる」とはいわれていたものの、楽観視していた私は大パニック。それからの毎日は職場と病院の往復で自宅には寝に帰るだけという生活に…職場も理解を示してくれていつでも休める体制を作ってくれました。

それからなんとか自然分娩にしよう先生方が手を尽くしてくださいましたが、お腹の中がよほど居心地良かったのか全く出てくる気配無し、できれば避けたいと願っていた帝王切開となりました。

帝王切開と決まったとたんに周囲があわただしく動きだし、私は自分の居場所がないように感じてしまい、冷静に思い出してみると



がん患者と家族のサロン「患者サロン」が始まりました！

平成21年5月20日(水)と6月17日(水)に、那覇市北保健センター(病院敷地内)で、「患者サロン」を開催しました。当日は、お茶とお菓子で和やかな雰囲気の中、当院通院中の方・他院通院中の方・当院スタッフの参加がありました。

患者さんは、「診断された時の気持ち、今取りくんでいること、知りたいこと・調べたいこと等」を自由にお話したり、お互いの話を聴いたりしました。

スタッフからは、「日頃患者さんとゆっくり話ができないので、患者さんやご家族の生の声をゆっくり聴く機会にし、日常のケアに活かしたい。」との声が聞かれました。

5月20日(水)・・・医師や看護師と和やかに・・・



6月17日(水)・・・音楽ボランティアの演奏・・・



患者さんやご家族が、心の悩みや不安・体験・生活上の工夫などを語り合うことのできるサロンです。がん種は問わず、どこの病院に通われている方でも自由に参加できます。

がんという病気を抱える患者さん・ご家族同志で心の内を話すことで、沈みがちな気持ちも少し晴れるかもしれません。少しずつ輪が広がり、長く続けられるようなサロンを目指します。周りの患者さん・ご家族へも、ご案内をお願いします。

病気に関する勉強会や楽しいイベントも企画しています。

お茶でも飲みながら、いろいろお話しませんか？お待ちしております。

●日時: 毎月第3水曜日13:30から15:00まで

＊日時や場所が変更になる場合がありますので、ご確認ください。

●場所: 那覇市北保健センター(那覇市立病院敷地内)

＊駐車場は、建物地下に5台分あります。

●参加にあたってのお約束:

- ① 個人の気持ちや意見を尊重しましょう
- ② お互いのプライバシーや個人情報を護りましょう
- ③ 活動場所等のルールを守りましょう
- ④ 特定の治療方法の普及を目的としません
- ⑤ 物品販売や政治活動及び布教活動はしません

●お問い合わせ先: 地域がん診療連携拠点病院
那覇市立病院 がん相談支援センター
884-5111(内線127)

『地域医療連携室』のようこそ

クリニックの先生へ

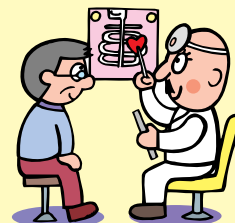
オープンシステムをご利用下さい (開放病床医療システム)

オープンシステムとは、

日常、かかりつけ医の元で療養管理を受けておられる患者さんが検査や治療、手術のために那覇市立病院へ紹介入院された場合、かかりつけ医師が、当院での検査・手術・治療に参加できます。(かかりつけ医師は副主治医、当院医師は主治医)

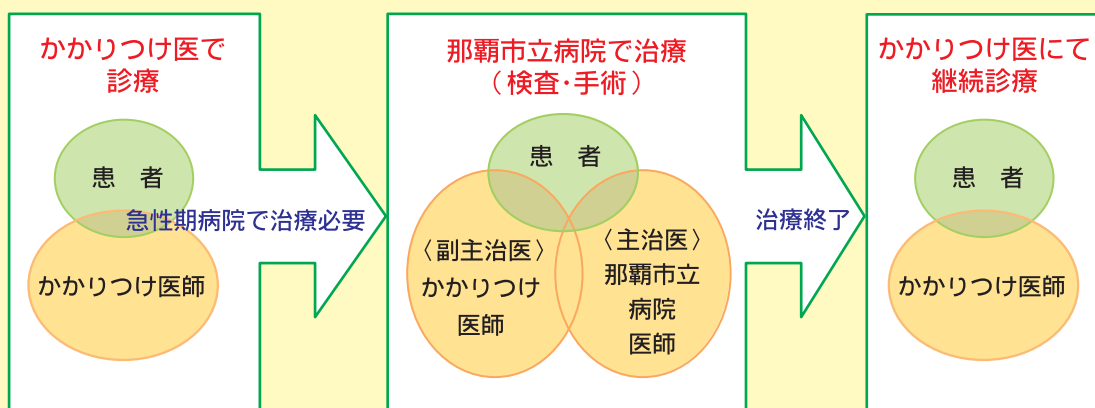
このように、かかりつけ医師と病院の医師が共同で患者さんの診療に携わる病床のことを「開放病床」といいます。現在、当院では5床の開放病床を設置しています。

安心して那覇市立病院を受診して下さい



開放病床へ入院された患者さんへ

入院前の状態を詳しく知っている先生が病院での治療に参加しますので、ご本人にとって一番ふさわしい治療を受けることができ、また、退院後も病院での経過を十分に把握しているため、安心してかかりつけ医の先生のもとで療養することができます。



申し込みについて

オープンシステムを利用しようとするかかりつけ医師は、那覇市立病院に登録する(登録医)が必要になります。手続き等については当院地域医療連携室へお問い合わせ下さい。

地域医療連携室

直通

TEL 098-884-5134

FAX 098-886-5502

専門医を紹介します

循環器科 比嘉南夫

平成20年9月から循環器内科の診療を担当しております。

循環器疾患は、虚血性心疾患、心不全、不整脈などの心臓疾患の治療は複雑になってきており、循環器内科でも細分化される傾向にあります。

私は、虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）に対するカテーテル治療（経皮的冠動脈インターベンション）を専門にしていますが、閉塞性動脈硬化症（以下ASO）に対するカテーテル治療（経皮的血管形成術）も行っております。近年、ASOなどの末梢動脈疾患（PAD）についても循環器内科でカテーテル治療が行われるようになってきました。日本では、腸骨動脈にはステント治療、大腿動脈以下ではバルーン治療が可能です。ASOは、間欠性跛行の症状で見つかることが多く、最初に整形外科を受診する場合があります。簡単な検査として、血圧脈波検査でABIが0.9以下ならASOが疑われます。

ASOが疑われる方は、是非ご紹介をお願いいたします。



循環器専門外来

毎週水曜日（午前8:45～11:00、午後13:00～16:00）、毎週金曜日（午前8:45～11:00）

*受診の際は、診療情報提供書（紹介状）をご準備のうえ、当院地域医療連携室へお電話下さい。

献立紹介

たなばた

野菜炒め

材料（1人分）

キャベツ 50g
ニラ 5g
ツナ缶 10g
油 5g
塩 少々
醤油 2.5g

90Kcal 塩分0.6g

七夕そうめん

材料（1人分）

そうめん 2束
ゆで卵 1/2個
おくら 15g
プチトマト 45g
つゆ（だし汁150cc、
醤油6g、砂糖2g、
みりん1g、ねぎ2g）

431Kcal 塩分2.8g



七夕の定番メニュー「冷やしそうめん」です。そうめんの上にはお星様をイメージし「おくら」を使用しています。お星様が散らばったようにかわいらしく仕上がります。野菜の不足は、野菜炒めを添えて補いました。七夕用の三色ゼリーも付けて雰囲気さがさらにアップします。



登録医紹介

当院と連携している登録医を紹介しています。



うえはら小児科医院



診療科目
小児科・アレルギー科

院長 上原 弘行



受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 2:00~5:45	○	○	△	○	○	○

●休診日：日曜日・祝祭日・水曜日午後

〒900-0006 那覇市おもろまち2-2-22
TEL: 098-869-2400



医療法人 まごころ会

かつれん内科クリニック

院長 勝連 英雄

- 日本内科学会専門医
- 日本糖尿病学会専門医
- 日本腎臓学会専門医
- 日本循環医学会専門医
- 日本透析学会会員
- 日本内分秘学会会員

○内科

内科一般・糖尿病・腎臓病・心臓病・高血圧
甲状腺疾患・リウマチ・膠原病・内分泌疾患

○透析

送迎も行っています

外来診療

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後 14:30~18:00	○	○	○	×	○	×

■休診日/木・土曜午後・日・祝祭日

血液透析

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
午後 14:00~	○		○		○	
午後 18:00~22:00	○		○		○	

☎(098)860-8615

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅3-9-18



当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。
 オープンシステムも備えていますのでぜひご利用下さい。
 お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL 098-884-5134(直通)

やまいびと

病人に寄り添う

町医者でありたい。



がなは医院

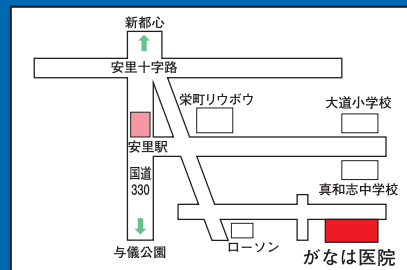
那覇市三原1-28-12 電話(832-3235)

内科・循環器・呼吸器・糖尿病

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~1:00	○	○	○	○	○	○
午後 2:00~6:00	○	○	○	休診	○	休診

○日曜、祝祭日は休診させていただきます。
 ○木曜日、土曜日の午後は休診させていただきます。

院長
我那覇 安彦



院長
野原 正史

日本外科学会専門医
 日本東洋医学会会員
 NPO法人サイモントン ジャパン理事

昭和61年北里大学医学部卒業。
 琉球大学第一外科、長崎大学第二外科、
 沖縄国立療養所沖縄病院、北部地区医師会病院、
 辻町若狭クリニック院長などを歴任

医療法人 ミラソル のはら元氣クリニック

診療案内

ガン相談・統合医療・内科
 東洋医学(漢方・はり)・リハビリ

- ◎高濃度ビタミンC療法
- ◎他者リンパ球輸注療法
- ◎サイモントン療法
- ◎プラセンタ療法

診療時間	月	火	水	木	金	土
午 9:00-13:00 前(受付12:00まで)	○	○	がん相談 (予約制)	○	○	○
午 14:30-18:00 後(受付17:00まで)	○	○	/	○	○	○

【定休日】:水曜午後、日曜・祝日
 ※水曜午前の診療はガン相談(予約制)となります。



〒900-0004 那覇市銘苅3-21-21

☎098-867-0012

登録医紹介



島袋整形外科



4月より
理学療法士2名加わり
運動療法 開始しました!

診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 1:30~6:00	○	○	○	/	○	/



〒902-0068 那覇市真嘉比93番地の2
TEL : 098-882-4322 FAX : 098-887-6660

医療法人 清心会 徳山クリニック



診療科目 : 内科、腎臓内科、リウマチ科、循環器内科、透析内科、禁煙外来・指導

院長 徳山清之 ◆ 医学博士

- 日本内科学会認定内科医
- 日本腎臓学会認定専門医
- 日本透析医学会認定専門医
- 日本リウマチ学会専門医
- 日本医師会認定・産業医
- 日本腎臓学会認定指導医
- 日本透析医学会指導医
- 日本リウマチ学会評議員
- 日本糖尿病協会療養指導医
- 日本腎臓学会学術評議員
- 日本透析医学会評議員
- 日本リウマチ財団認定・リウマチ登録医

◆ 休診日：日曜日・祝祭日

外来	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 14:00~17:00	○	○	○	○	○	休診

血液浄化センター	月	火	水	木	金	土
昼間 8:30~14:30	○	○	○	○	○	○
夜間 15:45~23:00	○	○	○	○	○	○

私たちは当クリニックを利用される皆様の尊厳、プライバシー(個人情報)を適正に取り扱い、診療に関する情報についてわかりやすい言葉で十分にご説明し、患者の皆様の希望、権利を尊重し、情報開示などのニーズに木目細やかに対応できるクリニックを目指しています。



浦添市牧港2丁目46-12 メディカルプラザ牧港1F・2F
TEL(098)942-1001 FAX(098)942-1414
<http://www.tokuyama.or.jp>





みやざと内科クリニック

内科一般

腎臓病・透析（送迎可）・関節リウマチ・膠原病
生活習慣病（糖尿病・高血圧・高脂血症）

みやざと内科クリニックの診療方針

- ◇患者さんの話をよく聞きます。
- ◇わかりやすい言葉で、わかりやすく説明します。
- ◇「腎臓病・透析医療」「リウマチ・膠原病」「生活習慣病（高血圧・糖尿病・高脂血症・痛風・メタボリック症候群）」の治療経験が豊富です。
- ◇日本内科学会認定内科専門医として、すべての病気に対処します。
- ◇自分が責任を持って治療できる範囲を自覚し、必要なら、適切に他の病院・クリニックへ紹介いたします。
- ◇検査や薬だけに頼らず丁寧な診察、生活指導を大切にします。
- ◇生涯学習に励み、医療技術の向上に努めます。

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00～5:00	○	○	○	休	○	休
休診日	日曜日・祝祭日・土曜日午後・診療日・診療日					

〒901-2126 浦添市宮城2丁目17番1号
TEL 098-875-7000

院長
宮里 昌

- ◆日本内科学会認定専門医
- ◆日本腎臓学会専門医
- ◆日本透析学会会員
- ◆日本リウマチ学会会員



又吉内科クリニック



又吉内科クリニック 院長 又吉 亮二

- ・日本消化器内視鏡学会指導医専門医
- ・日本消化器病学会専門医
- ・日本内科学会認定医

診療科目

- 内科 ● 胃腸科

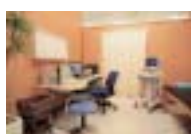
内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ）超音波検査

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
午後 2:00～5:30	○	○	/	○	○	/

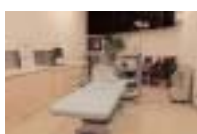
●休診日：日曜日／祝祭日／水・土曜日午後



待合室



診察室



内視鏡検査室



モノレール安里駅より徒歩1分

那覇市安里2丁目9-8（サンステーションビル1階）

TEL (098) 866-0007



外来担当医師表

地方独立行政法人

那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
TEL 098-884-5111(代)

科名	診療	月	火	水	木	金	受付時間・特殊外来等	
内科	午前	総合初診	上原 圭太	喜屋武 幸男	仲地 紀哉	照喜名 重一	豊見山 良作	※総合初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。 【肝臓専門外来】 毎週月・木曜日 8:45~11:00 担当医: 宮里 賢 【循環器専門外来】 毎週水曜日 8:45~11:00 担当医: 比嘉 南夫 毎週水曜日 13:00~16:00 担当医: 崎原 永啓 毎週金曜日 8:45~11:00 担当医: 旭 朝弘 【神経専門外来】 毎週水曜日 8:45~11:00 担当医: 小林 奏 【禁煙外来】 毎週木曜日 13:00~16:00 担当医: 照喜名 重一 [予約再来における主な担当分野] 呼吸器: 喜屋武・知花・照喜名 消化器: 島尻・仲地・豊見山・宮里・金城 循環器: 崎原・田端・喜瀬・旭・眞志取 腎臓・透析・膠原病: 宮良・糸数 血液: 新垣・内原 糖尿病・内分泌: 豊見永・平良 神経: 小林 ※同一診察室で午前、午後の担当医が異なる場合は原則として午後1時をその区切りとします。
			旭 朝弘	喜瀬 高庸	宮良 用一郎	宮里 賢	内原 潤之介	
		大平 哲也	古堅 高之	座間味 亮	中田 円仁	佐渡山 伸子		
		再	一診	知花 なおみ	小林 奏	神経外来	喜屋武 幸男	
		二診	眞志取 多美	糸数 昌悦	崎原 永啓	島尻 博人	崎原 永啓	
		三診	崎原 永啓	平良 剛	新垣 均	平良 剛	中田 紀哉	
	五診	宮里 賢	内原 潤之介	豊見永 辰美	田端 一彦	照喜名 重一		
	六診	豊見永 辰美		循環器外来	宮良 忠	循環器外来		
	午後	総合初診	比嘉 南夫	新垣 均	照喜名 重一	眞志取 多美	比嘉 南夫	
			宮良 用一郎	座間味 亮	上原 圭太	古堅 高之	中田 円仁	
		金城 譲	上江洲 一平	大平 哲也	宮良 用一郎	喜瀬 高庸		
		再	一診	喜屋武 幸男	知花 なおみ	島尻 博人	新垣 均	
二診		豊見山 良作		循環器外来	糸数 昌悦	崎原 永啓		
三診		平良 剛	宮良 忠	旭 朝弘	金城 譲	仲地 紀哉		
五診	田端 一彦	照喜名 重一	田端 一彦	禁煙外来	照喜名 重一			
六診	島尻 博人	崎原 永啓	平良 剛		豊見永 辰美			
小児科	午前	一診	知念 正夫	屋良 朝雄	神谷 素子	渡久地 鈴香	知念 正夫	
		二診	渡久地 鈴香	桃原 由二	大城 征	大城 征	新垣 洋平	
		三診	新垣 洋平	上原 朋子	伊波 徹	桃原 由二	上原 朋子	
	午後	一般診療	上原 朋子	知念 正夫	■知念 正夫	屋良 朝雄	屋良 朝雄	
		乳健・予防接種	神谷 素子	大城 征		新垣 洋平	桃原 由二	
		特診	【遺伝相談】 成富 研二	【未熟児】 神谷 素子 【心エコー】 伊波 徹	【内分泌】 渡久地 鈴香 【神経外来】 伊波 徹	【心エコー】 伊波 徹	【循環器】 伊波 徹	
毎週、担当医の変更あり	【乳児検診】月・木・金 (受付時間) 12:30~13:00 (診察時間) 13:00~14:00	【予防接種】月・木・金 (受付時間) 13:30~16:00 (診察時間) 14:00~17:00	ただし、任意の予防接種は木曜日のみ。(要予約)	【小児神経外来】 水曜日午後のみ。(予約制) (第1・3・5:5:5時間 直秀)(第2・4:嶺間 博隆)	■印は、予約・紹介状のある患者さんへのみの受付となります。			
外科	午前	川野 幸志	山城 和也	久高 弘志	久高 弘志	大城 健誠	【循環器外科外来】 第4金曜日(14:00~16:00) 担当医: 山城 聡	
		宮里 浩	久高 学	宮里 浩	上原 忠司	久高 学	乳腺・甲状腺外来: 久高弘志・久高学 肝臓・胆嚢・膵臓: 山城 和也	
	午後	大城 健誠	川野 幸志	久高 学	久高 弘志	山城 和也	小児外科: 山里将仁 血管外科: 川野幸志	
		久高 学	第2・第4火曜日 緩和ケア外来	高江洲 享	山里 将仁	永吉 盛司	胸部(呼吸器)外科: 上原忠司 消化器外科: 宮里浩	
整形外科	午前	初診	仲宗根 朝洋	大城 互	屋良 哲也	玉城 一	外間 浩	【母親学級】第1水曜日 13:30~16:00
		再来	屋良 哲也	外間 浩	玉城 一	大城 互	仲宗根 朝洋	【思春期外来】木曜日 13:30~16:00 渡嘉敷
	午後	初診	勢理客 久	山川 慶	福田 山川 (交替)	福田 望	岳原 吾一	※初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。
		再来	屋良 哲也	外間 浩	玉城 一	大城 互	仲宗根 朝洋	脊椎外来: 月(屋良)、金(仲宗根) 手の外科外来: 火(外間) リウマチ外来: 水(玉城) スポーツ外科外来: 水(午後)・木(午前)(玉城) 水曜日と金曜日の午前の初診は紹介状持参の方のみ
産婦人科	午前	田代(産科)	池宮城(産科)	渡嘉敷(産科)	池宮城(産科)	田代(産科)		
	午後	池宮城(婦人科)	渡嘉敷(婦人科)	當間(婦人科)	田代(婦人科)	當間(婦人科)		
脳神経外科	午前	豊見山 直樹	豊見山 直樹	手術	百次 仁	百次 仁	午前 受付時間 8:30~11:00、診察時間 8:45~12:00	
	午後	島袋 洋	島袋 洋	手術	豊見山 直樹	百次 仁	午後 受付時間 13:30~15:30、診察時間 14:00~16:30	
皮膚科	午前	新垣 肇	川崎 恭子	川崎 恭子	新垣 肇	川崎 恭子	■印は、予約患者のみの受付となります。	
	午後	外来手術	■川崎 恭子	■新垣 肇	■川崎 恭子	■新垣 肇		
眼科	午前	今泉 綾子	久志 雅和	今泉 綾子	目取真 市子	久志 雅和	完全予約制です。(緊急患者は随時診察いたします。)	
	午後	久志 雅和		久志 雅和	目取真 市子	目取真 市子	眼科外来の初診は、紹介状のある患者さんのみ受付いたします。	
泌尿器科	午前	紅葉 美樹	山城 清治	吳屋 真人	山城 清治	吳屋 真人	※未熟児診療	
	午後	吳屋 真人	松村 英理	山城 清治	紅葉 美樹	豊里 友常	(月~金曜日) 日帰り・結石破碎手術 ・前立腺針生核行っています。 *印は結石破碎手術のみ	
耳鼻咽喉科	午前	神谷 義雅	比嘉 輝之	神谷・比嘉 (交替)	嘉数 光雄	嘉数 光雄	※初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。	
	午後	*嘉数 光雄 *新濱 明彦	■嘉数 光雄	■比嘉 輝之	■神谷 義雅	■比嘉 輝之	■印は、予約患者のみの受付となります。 *水曜日午後(第1水曜日:嘉数 光雄)(第2・3・4月曜日:新濱 明彦) *水曜日の午前は交替制	
精神科	午前	小林 敬	屋宜 盛秀	*名古屋 和香	屋宜 盛秀		完全予約制です。	
	午後			*名古屋 和香			現在、新患の受付はしていません。ただし、緊急患者は診療します。 *第4水曜日は、屋宜盛秀が診療します。	
放射線科	午前	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹		完全予約制です。(新患のみ)	
	午後						午前中のみ診療いたします。	
歯科口腔外科	一診	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	手術	仲宗根 康雄	歯科外来の初診は、紹介状のある患者さんのみ受付いたします。	
	二診	津波古 判	津波古 判	津波古 判	立津 政晴	津波古 判	午後の診療は予約患者のみの受付となります。(緊急患者は随時)	
リハビリテーション科	午前						外来診療: 金曜日 13:00~17:00 (第4金曜日は休診)	
	午後						運動療法: 月~金曜日 8:45~17:00	
救急		濱田 賢治・寺田泰蔵(但し、必要に応じて各専門診療科へつなぐ)					8:30~17:00	

*土・日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始は急病センターにて終日診療
*手話通訳を希望される方は予約が必要となります。事前に医療福祉相談室にご連絡ください。医療福祉相談室(内線127)